

防コミの歩き方



地域全体で避難訓練を実施 ～つつじが丘防災福祉コミュニティ～

つつじが丘地区は、垂水区の北東方面にあり、北は須磨区と接した閑静な住宅街です。

地区の中心には福田川の支流である小川が流れており、春になると辺り一面に桜が咲いてシンボルになっています。



この地区（防災福祉コミュニティ）の防災活動として、春には地区の子どもたちを集め、スタンプラリー形式による防災クイズを地域全体で実施し、小学校に集合後、防災訓練（消火器・布バケツにより消火・簡易担架を作成し搬送）をおこなっています。



年明けには、とんどに合わせて大人を対象とした炊きだし訓練、消火器の使用法、天ぷら油の火災実験をおこない、注意喚起をしています。年に一度、消防署指導によ

り6防コミ合同で市民防災リーダー研修をおこなっています。



●5年ごとに実施する総合避難訓練

つつじが丘防コミは、平成26年度に地域おたすけガイドを作成し、27年度におたすけガイドの検証として、初めて全地区を取り込んだ避難訓練を実施しました。この訓練にて学んだこととして、毎年おこなうよりも、時間をかけて広報し準備することにより参加者も増えて、質の高い訓練ができると考え、5年に一度実施することに決めました。これにより昨年の令和元年11月に2回目を実施し、地区全体の約3割の人たちが参加したことで地域の防災意識がさらに強まったと感じました。この訓練にあたり、自治会や関係団体の協力に感謝しています。

●今後の課題として

地域全体の訓練は必要不可欠であり、続けていくことが重要である。今後どのように進めていくか、今回の訓練の反省を踏まえて住民の防災意識向上を目指し、次回の訓練参加人数を増やしたいと思います。

（つつじが丘防災福祉コミュニティ

委員長 小寺 俊彦）